

このニュースは、NPO 日本文化体験交流塾の活動にご興味をお持ちになった方にお送りしていますが、不要の方は返信メールにてご連絡ください。

第1. 新着ニュース

◆1. ☆★ 4月19～20日 京都観光スポット研修(大仙院、瑞峯院、高桐院、今宮神社、東山コース、座禅体験、泉涌寺) **募集開始! ☆★**

【通訳ガイド業直結型研修】

IJCEEでは、京都・大阪・奈良など12のコースを設定し、プライベートツアーを実施しています。また、最近では、スルーの長期ツアーが増え、有名観光スポットだけでなく、これまで以上に、京都に精通する必要性が一層高まっています。このため、今回、ご案内する通訳案内士の手持ちカードを増やすための研修を企画しました。新人の方にも必須の研修です。



高桐院

第一日目

◆実施日及び集合時刻・場所：4月19日(土) 13時00分 JR 京都駅中央口(烏丸口) 改札口外 集合

◆コース概要： 大仙院→瑞峯院→高桐院→今宮神社

◆講師：山脇悦子氏 (IJCEE 会員)

※大仙院では、寺の職員、瑞峯院では、住職 前田唱道氏の解説があります。

※今宮神社では、通常では入れない本殿(京随一の古社に相応しく素晴らしい!)でお祓いの儀式を体験する特別企画があります。

◆受講料(拝観料込)：一般 3,600円、IJCEE 会員 3,000円

◆定員：20名

◆最少催行人数：8名



第二日目

PART 1「東山コース」研修 8時30分～12時00分

◆実施日及び集合時刻・場所：4月20日(日) 8時30分 清水寺 正面 仁王門前の石段の下 集合

◆コース概要：清水寺→三年坂→石塀小路→八坂神社
→祇園 (右の写真は三年坂)

◆講師：大西麻子氏 (IJCEE 会員)

◆受講料(拝観料込)：一般 3,000円、IJCEE 会員 2,500円



- ◆定員：20名
- ◆最少催行人数：8名

PART2 「座禅体験」「御寺 泉涌寺」研修 13時15分～17時15分

- ◆実施日及び集合時刻・場所：4月20日（日）13時15分 京阪本線東福寺駅 東改札口外 集合
- ◆コース概要：座禅体験（勝林寺）→泉涌寺
- ◆講師：（座禅体験）住職 宇野 琥堂氏 （泉涌寺案内） 寺の職員の方
- ◆受講料（座禅体験料、拝観料込）：一般 4,000円、IJCEE 会員 3,200円
- ◆定員：20名
- ◆最少催行人数：8名



座禅体験



楊貴妃観音（泉涌寺）

申込み等詳細は[こちら](#)

- ※IJCEE 実施のツアーガイドのアサインは、本研修（または、同等の研修）受講者を優先します。
- ※関東の皆様が参加し易いように、第一日目のスタートは、午後13：00にしています。
- ※受講料は当日、会場にてお支払下さい。
- ※交通費は各自負担。
- ※講師陣紹介：山脇、大西両氏とも関西圏をベースに第一線で活躍中の通訳案内士（IJCEE 会員）。

◆2. ☆☆文楽鑑賞教室「文楽をいっしょに楽しみませんか？」 **募集開始！**☆☆

【通訳ガイドの基礎力アップのための研修】

実際にはなかなか鑑賞する機会のない、大阪が誇る伝統芸術、文楽を鑑賞します。文楽をはじめて鑑賞する方にも楽しんで頂ける国立文楽劇場の『文楽鑑賞教室』の席を20席仮押さえしました。是非ご参加を！

- ◆日時：6月18日（水） 14：00～16：30
- ◆国立文楽劇場開場30周年記念 第31回文楽鑑賞教室
- ◆演目： 「団子売」
〈解説〉文楽へようこそ

「卅三間堂棟由来」
鷹狩の段
平太郎住家より木遣り音頭の段

http://www.ntj.jac.go.jp/assets/images/ticket/kansyoukyousitu/bunraku/2014/pct_20140311_02_1.jpg

- ◆場所 : 国立文楽劇場 (堺筋線・千日前線の日本橋駅 7番出口より徒歩1分)
地図→<http://www.ntj.jac.go.jp/bunraku/access/>
- ◆参加費用: 会員 3,600円 一般 4,000円 . . . 当日徴収
- ◆13時45分から、劇場前で受付開始

申込み等詳細は[こちら](#)

◆ 3. ☆☆ 関西での活動説明会・新人研修説明会 **開催のお知らせ!** ☆☆

NPO日本文化体験交流塾 (IJCEE) の会員数が、設立5年にして、昨年末で415名となりました。

今年からは、関西地区でも活動説明会を定期的に行います。その第一弾として、2月16日(日)及び3月2日(日)に多数の方のご参加を得て実施しました。「日本文化」を視座にご説明し、皆さんからも貴重なご意見等もいただきました。

次回開催は、5月17日(日)、7月27日(日)大阪・梅田の会場で開催します。ご参加をお待ちしています!!

お申込みと詳細は[こちらから](#)

参加費は無料です。

関西地区での活動風景の画像

伏見研修



寿司づくり体験



茶道体験



第2 その他情報

1. IJCEE 研修関係等

- ◆ 1. □■ 2月24日「日本人と天皇家」研修報告 ■□

2月24日裏先生講演『日本人と天皇家』好評にて終了（32名参加）

「また裏先生の講演を希望します」、「1泊2日でいろいろとお話を聞きたい」、「裏先生のパワーに圧倒された」、「権威と権力を明快に定義してもらい、新たな視界が開けた」、「目からうろこの講演会でした」等、大変好評でした。権力（お金の動きを決める力）がなくなり権威のみになった中世、いかに存続したのか？ 天皇職（てんのうしき）を守ったことが大きい。それは何か？——勅撰和歌集を編集すること等、知らなかったことを沢山学びました。

★ 裏先生作成レジュメ（11ページ）と資料（12ページ）、及び講演での補足分のみとめ（7ページ、中塚作成）があります。

ご希望の方は、住所を書き添えてメールで申込下さい（kimiko.nakatsuka@gmail.com）。届きましたら（300円＋郵送料180円）を切手で中塚まで郵送で送って下さい。

◆ 2. □■ 3月8～10日「熊野古道」研修報告 ■□

3月8日～10日熊野古道研修、リフレッシュして終了（2泊3日：23名、1泊2日：7名、日帰り1名参加）

お天気に恵まれ、自然の息吹を感じながら歩き、熊野古道を満喫しました。日本語での語り部もされている瀬さんの熊野に関する深い知識と通訳ガイドの目が、この研修を豊かなものにしました。美味しい食事、暖かいもてなし、おおらかで厳しくもある自然、すべてに参加者の皆さんは満足されたようです。修験道の行者の池田さん（IJCEE会員）がウォークの際しんがりを務めてくれたり、ほら貝を吹いてくれました。これもなかなか得難い経験でした。

参加者の感想

『熊野にお客様をご案内することは99%ないと思いますが、瀬さんからはガイドとしての心意気、これから私の仕事へのヒントとなる知識など多くのことを学ぶことができました。本当に素晴らしいガイドさんに出会うことができました。瀬さんから熊野を愛してやまないという気持ちが伝わってきました。ガイドとして大切なことです。』
『修験道の行者の池田さんとお知り合いになれてよかったです！』

〇山の神汗かきツアー：講師の瀬さんは10年前にこのツアーを知り、その時から熊野に通われたということです。

<http://blog.murablo.jp/tsuboi/theme/2168.html>

◆ 3. □■ 通訳案内士新人研修（関西）満席！ ■□

お陰様で、大変好評にて、当初定員 30 名を 38 名に増員して対応致します。お申込み頂いた皆様、有難うございました。スタッフ一同ご満足いただける研修となるよう準備に万全を期します。

2. 関西でのイベント・研修情報

◆ 朝日カルチャーセンター京都 問合申込→[075-231-9693](tel:075-231-9693)

○4月28日（月）『匠とめぐる寺院美術の舞台裏』、10時半～、11340円
屏風、巻物など表装の老舗・宇佐美松鶴堂を見学、国宝や重文の修理の苦労話を宇佐美直秀社長から聴く。午後は大徳寺本坊「狩野探幽襖絵」（重文）と妙蓮寺「長谷川等伯一派襖絵」（重文）を同社長と鑑賞する。



「長谷川等伯一派襖絵」（重文）

○4月29日（火）『匠とめぐる寺院建築の舞台裏』、10時～、11340円
寺社建築の奥谷組で、千田日出雄社長から伝統工法「継手 つぎて」「仕口 しぐち」などの解説を模型を見ながら聴く。午後は修復中の知恩院「御影堂」（国宝）を訪れ、千田社長から工事の詳しい説明を聴く。国宝「三門」にも登り、「月光殿」（重文）で昼食をとる贅沢さ。

○講座：山田邦和・同志社大学教授『洛中洛外から近世への変容』4月11日から第2金曜、3回、9396円、現地費用は別

応仁・文明の乱で壊滅状態となった京都。そこから立ち直り、近世都市へと歩み始めた時代に製作された「洛中洛外図屏風」には、京都の市中と郊外の街並みや景観、人々の生活が四季の移ろいととも描かれている。

講座では、その画面から見てとれる情報をもとに、山田邦和・同志社大学教授が当時の様子を分析、新たな時代へと移り変わる都の実像に迫る。3回目の現地講座では、狩野永徳作で上杉家に伝わったとされる「上杉本洛中洛外図屏風」を手がかりに、上京を訪れ、花の御所と呼ばれた室町殿跡や相国寺、同志社大学構内遺跡などを巡る。

- ◆ 4月10日10時半～15時 産経ウェブ『[大坂の陣を訪ねる～歴史の舞台の現場検証](#)』「長宗我部盛親VS藤堂高虎 激闘の八尾古戦場を訪ねる」、5000円（昼食付き）

大阪城天守閣の北川央研究主幹と大坂の陣の古戦場を訪ねるシリーズ。

今回は、大坂夏の陣で長宗我部盛親と藤堂高虎と激突した、八尾古戦場の現場検証を行います。

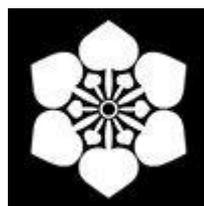
☆詳細とお申し込みはこちらから（3月25日まで）

<http://wave.sankei-kansai.com/2014/03/post-476.php>

- ◆ 二条城唐門 2013年8月修復が終了し、素晴らしく美しくなりました！

次のサイトをご覧ください。菊の御紋の下に三つ葉葵の御紋があるのがわかる写真も載っています。

<http://www.city.kyoto.jp/bunshi/ni-jojo/karamonkansei.pdf#search='%E4%BA%8C%E6%9D%A1%E5%9F%8E+%E5%94%90%E9%96%80'>



六葉葵

三つ葉葵は菊の御紋に変わっていますが、徳川の裏御紋の六葉葵は多数残っています（小さめの金具の真ん中）。

★★訂正★★ 先日ご希望者に差上げた「二条城研修レジュメ」の1ページで寛永行幸（1624年）は間違いで正しいのは1626年です（2か所）。申し訳ありませんが訂正願います。また、このレジュメをご希望の方は左記にご連絡下さい（無料）。

kimiko.nakatsuka@gmail.com

◆姫路城の入城料 1000 円に来春から値上げ！

姫路市は、大修理中で大天守の中を見学できなくなっている姫路城の入城料を来年 3 月 27 日の再オープン時から、18 歳以上を千円に、小学生 1 年～18 歳未満を 300 円にすると決めた。関連の条例改正議案を今月開会の定例市議会に提案する。

修理前に入城料は 15 歳以上 600 円（5 歳～中学 3 年は 200 円）だった。

市姫路城管理事務所によると、新料金は城郭施設の大人の入城料としては首里城（那覇市）の 800 円を抜いて日本一高くなるという。値上げ分は今後の整備などにあて、担当者は「世界遺産を将来に引き継いで守るため、大人は日本一の料金になるが、日本一満足してもらえる城にしたい」と理解を求めている。

◆2 月 25 日～4 月 6 日ヨドコウ迎賓館「雛人形展」、500 円、月木休み、阪急芦屋川下車北へ 500m、問合 0797-38-1720

20 世紀最高の建築家の一人と称されるフランク・ロイド・ライトが設計した、国指定重要文化財の「ヨドコウ迎賓館」。同館ゆかりの雛人形を公開する「雛人形展」が今年も開催される。展示される人形は、建築主の 8 代目・山邑太左衛門が長女の誕生を祝うために、二百年余年の歴史を持つ京都の老舗「丸平大木人形店」に製作を依頼したもの。展示数は全 33 体。2 年の歳月をかけて納められた、重厚かつ豪華な雛人形を眺めながら、春の訪れを感じてみて下さい。

◆**旅程管理資格更新**について

旅程管理資格を取るには、決められたコースを受講し認定試験をパスする必要がありますが、これは登録している旅行社或いは人材派遣会社を通してしか申込みません。資格を得た後に、やはりその旅行社或いは人材派遣会社を通して免許を発行してもらいますが、これは 5 年ごと更新する必要があります。5 年後にその会社とつきあいがなくなると、更新手続きをしにくくなります。

その場合どうしたらよいか、日本添乗サービス協会（旅程管理資格の大元締め）に聞いてみました。

主任者証に旅程管理研修終了番号と登録番号が書かれています。資格をとったという事実は、発行されている主任者証が有効期限を過ぎても有効。だから、更新しなかった場合、期限を過ぎた主任者証でも、なくさないこと（+修了証書をとっておいた方がいいそうです）。これがあれば、将来、ある旅行社の仕事で、その旅行社が旅程管理資格を要求した場合、その会社に期限が過ぎた主任者証（旅程管理研修終了番号と登録番号が記入されている）を示して、その時点で再度発行してもらうことができるそうです。

詳しくは、ご自分で社団法人「日本添乗サービス協会」(03 - 6435-1508)でご確認ください。

(旅行社は、所属する、全国旅行業協会(ANTA)か日本旅行業協会(JATA)から主任者証の台紙を取り寄せ、これを使ってその旅行社が発行できます。日本添乗サービス協会は試験のための研修と認定試験を実行し、その結果を受けて、主任者証は旅行社、或いは人材派遣会社が発行します。)

◆通訳案内士免許…引っ越した場合は住所変更届けが必要です(4000円かかります)。

<http://www.kouiki-kansai.jp/contents.php?id=639>

◆ 4月8日～6月1日 特別展『山と神仏 吉野・熊野・高野』、大阪市立美術館、月休み

紀伊半島—それは本州最南端、三重・奈良・和歌山の三県にまたがる日本最大の半島。中央には標高1,000mをこえる山々が縦横に連なって紀伊山地を形成し、太平洋から吹きつける激しい風と日本有数の降水量という厳しい環境のなかで豊かな自然がはぐくまれました。そこでは、古代より「聖なる山」への様々な信仰が生まれ、今に息づいています。

その核となるのが、役行者を祖とする修験道の一大拠点「吉野・大峯」、全国に広がる熊野信仰の中心「熊野三山」、真言密教の根本道場「高野山」です。三つの霊場とこれらを巡る「参詣道」は、2004年に「紀伊山地の霊場と参詣道」としてユネスコ世界文化遺産に登録されました。

吉野・大峯、熊野三山、高野山の三霊場は、参詣道を通じて有機的な繋がりを保ちつつ、それぞれ独自の文化圏を形成してきました。一方で、日本固有の宗教である神道と中国・朝鮮半島から伝わった仏教が、併存あるいは融合して現在にいたるという大きな共通点を持っています。

世界文化遺産登録10周年を記念して開催する本展では、三霊場を中心として、篤い信仰をあつめる「神と仏」のすがたを一堂に展観します。

http://www.osaka-art-museum.jp/sp_evt/deities-of-the-mountains/

○ 講演会も行われます。

- ・ 4月12日（土）「熊野の神仏」 講師：朝日芳英氏（熊野那智大社宮司）
- ・ 4月26日（土）「吉野・大峯の神仏」 講師：田中利典氏（金峯山修験本宗宗務総長）
- ・ 5月17日（土）「高野さんの神仏」 講師：山口文章氏（金剛峯寺宗務総長公長室）
- ・ 5月24日（土）「紀伊山地の神仏をめぐって」 講師：齋藤龍一（美術館主任学芸員）

会場：大阪市立美術館 1F 講演会室 時間：13:30～15:00 定員：各 150 名（先着順、当日 13 時より整理券を配布）

※聴講無料ですが、特別展の観覧券が必要。

- ◆ 3月29日（土）裏紫都子氏の東京発着ツアー『風土記の旅 虎塚古墳彩色壁画見学と大串貝塚』（クラブツーリズム、申込・問合せ：03-5323-6969）

高野山研修、講演と IJCEE 関西で人気の裏先生のツアーがあります。東京発着です。

コース No40421 倶楽部ツーリズム東京のツアー 出発日 3月29日（土）、12000円（昼食付）

新宿(7:20 発)＝上野(8:10 発)＝＜常磐道＞＝酒列磯前神社(酒と医薬の守り神)＝虎塚古墳(ベンガラで描かれた彩色壁画)…十五郎穴横穴墓群＝大洗磯前神社(少彦名命上陸の地と伝わる)＝大串貝塚(巨人ダイダラボウ伝説)＝＜常磐道＞＝上野(17:40 予定)＝新宿(18:20 予定)



- ◆ 世界の絶景のホテル 10 選

http://www.tripadvisor.jp/InfoCenter-a_ctr_hotelviewsJP

※メールニュースの転送・転載はご自由にどうぞ。

NPO 法人日本文化体験交流塾 理事 関西支部長 上原 護

Address : uehara.ijcee@gmail.com

Phone: 080-5646-1100
